

【評価実施概要】

事業所番号	第0170400626		
法人名	有限会社ハートウォーミング		
事業所名	グループホーム あさひ		
所在地	〒063-0834 札幌市西区発寒14条3丁目6-16 (電話) 011-666-8977		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年3月24日	評価確定日	平成20年3月31日

【情報提供票より】(H20年2月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年3月20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	13 人	常勤	5人, 非常勤 8人, 常勤換算4.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造準耐火	造り
	2階建ての	1~2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000~65,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有(100,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,333 円			

(4) 利用者の概要(2月25日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名	
要介護1	1	要介護2	4			
要介護3	0	要介護4	2			
要介護5	1	要支援2	1			
年齢	平均	82歳	最低	74歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	八軒循環器病院 札幌整形外科病院 大田内科歯科医院 山口歯科クリニック
---------	-------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは住宅街に位置しており、近隣には小学校、医院等がある。玄関前はスロープで車椅子に配慮し、館内は段差が無く手摺が各所に設置され、高齢者の動線を考慮した造りになっている。居間、居室、洗面所、トイレ等広く清潔で手入れが行き届いている。近くに同法人の民家改造のデイサービス事業所があり、ホーム入居者が自由に立ち寄り寛ぐことができる。ターミナルケアについても実績をもち、管理者、職員は日々研鑽を積み、事業所理念である「安全、快適」を基に質の高いサービスを提供している家庭的で安心のできるホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	管理者は前評価に対して職員と共に改善計画をたて、課題であった「あさひ便り」の定期的な発行、緊急時マニュアルの整備等を行い、ケアサービスの向上にむけて取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で自己評価を行い、具体的に内容を検討することにより、職員の意識向上、ケアの見直しに活かされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は定期的開催され記録保存されている。協議ではホームの生活状況、行事、ボランティア受け入れ等が報告されている。地域との連携では災害時における協力体制について討議され、ホームの緊急連絡網に運営推進会議のメンバーが入る等協議内容を活かした取り組みがなされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ホーム内に公的な苦情相談窓口が提示されており、意見箱の設置がある。「あさひ便り」には利用者の日常生活やホーム行事を写真入りで報告し、手紙・電話を利用しての連絡も行っている。家族来訪時には話を聞くようにしており、家族の意見・要望を取り入れて運営に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に入会し、行事に参加しており、日常的に交流がある。地域の健康教室「すこやかクラブ」には入居者と職員が共に参加している。同法人のデイサービス事業所と共同で地域住民への働きかけが行われており、地域との連携に積極的に取り組んでいる。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で安心した生活ができるようにと、家族、地域を大切にしたい事業所独自の理念を作り実践に取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基づいたホーム運営を行っており、日々のミーティング時等においても確認し、実践の中で具体的な取り組みをしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、行事にも参加しており、日常的に付き合いがある。近距離にホーム経営のデイサービス事業所があり、講習会を催す等してホーム利用者と地域の人々の交流の場として活用されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、サービス評価の意義を理解し、自己評価、外部評価の結果を踏まえ具体的に改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2カ月に1度定期的開催され記録されている。ホーム運営の報告、家族会、災害時避難訓練、ボランティア募集等について話し合わせ、運営推進会議のメンバーがホームの緊急時連絡網に名が入る等、サービス向上に活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>区の保健福祉担当者と管理者会議において交流をもつ機会があり、情報を得てサービスの向上に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族来訪時には暮らしぶりや健康状態について伝え、定期的には、ホーム情報誌「あさひ便り」を送付しており、電話・手紙等を通じて金銭管理や個々の様子について報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム内に公的な苦情相談窓口が提示してあり、意見箱の設置もある。家族の方が気付きを伝えてくれることもあり、それらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動が少ないように努力している。新人職員には、利用者の馴染みの職員とペアで仕事する期間を設け、利用者のダメージを防ぐように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は職員の研修する機会を確保するように努力して事業所の基盤強化を図っている。職員のなかには専門職の資格を取得する方もおり、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		<p>職員の研修受講計画の作成を行っているので期待したい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム同業者との管理者会議での交流はなされたが、職員を含めての相互交流の機会をもつことができなかったことから、次年度は交換研修、スタッフ研修の機会を設けてサービス向上を目指すように図っている。</p>		<p>地域の同業者と学習会や研修会を持ち、相互協力の機会をもつよう予定しているので期待をしたい。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人の納得が得られるように、生活歴等を参考にし、他利用者との関係も考慮しながら、雰囲気徐徐に馴染めるように、家族と相談を行い、サービスを開始するように工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一人ひとりの個性を大切に喜び・悲しみを共有し、家事等も一緒に行い、互いに信頼関係をもてるように留意して、共同して生活する関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日頃から一人ひとりの思いや暮らし方の意向を十分把握するように努め、得意な事、不得意な事等を見極め、本人の希望に添った支援ができるように行っている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族の意見・要望を十分取り入れ、職員・ケアマネージャーと意見交換を行い、個々の心身の状況、生活能力を把握し、確認した上で介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は期間や状態の変化に応じて随時見直しを行っている。身体状況の低下については早い時期に家族に連絡を行い、関係者と話し合い、現状に即した計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ショートステイやデイサービスを行い、ホームの多機能性を強化している。近くに「あさひ」が開所されており、ホーム入居者が寛げる場として利用する他、手芸講習会等を開き地域の人々との交流の場としても機能している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>地域の医師が定期的に往診をしており、緊急時においても対応を約束されている。個々の希望する診療についても、適切に医療が受けられるように支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期ケアの実績をもち、検討会、勉強会を行っている。日頃から本人や家族の意向を確認し、医師とも相談し、重度化に向けて事業所ができる最大の支援方法を踏まえて方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの個性や誇りを大切にし、プライドを傷つけないような対応や言葉かけに配慮を行い、個人情報については書類管理も適切に行っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は利用者の気持ちを把握し、体調に配慮しながら、一人ひとりのペースを大切にして希望に添って支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
、食事					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理・盛り付け・配膳・片付け等、一人ひとりの力に応じて職員と共に携われるように配慮し、食事が楽しい時間となるように支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴することが可能である。本人の希望で入浴しない日は清拭や足浴を行い、清潔保持と感染防止を図っている。全介助の方も浴槽に入っての入浴回数を増やすよう努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や身体状況を踏まえ、役割や楽しみ事があるように、声かけを行い、材料を用意して場面設定を行う等して支援している。(調理、買い物、散歩、歌、編み物、工作など)		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	心身の活性化に繋がるよう本人の希望に添って、日常的に散歩、買い物に出かけるように支援している。ホームから歩いて3分の距離にある同法人経営のデーサービス事業所「あさひ」への通いも進められている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には音センサーを設置し、職員は利用者の動向に配慮する等して、玄関には施錠しない自由な暮らしを支えるケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>定期的な避難訓練は行っており、マニュアルも整備されている。運営推進会議において夜間を推定した非難訓練について地域の人々との協力体制について協議された。歩行困難な方の避難介助用具「おんぶ紐」の製作に独自の試みを行っている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの食事量や水分摂取量を表に記録して見易い場所に貼り、全員でチェックして情報を共有しており、栄養バランスや水分量が確保されるよう支援している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関、ロビー、居間等広々としており、1階居間にはベランダがあり、ホーム庭の花や木を眺めて季節感を味わうことができる。居間にはソファ、廊下には所々に椅子が設置され、採光、温度、換気、湿度等に職員は常に配慮して居心地良く過ごせるように工夫している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた家具や、身体状況に応じたベットや椅子が持ち込まれ、本人が安全に安心して居心地良く過ごせるよう配慮されている。居室で寛ぐ利用者さんの姿を見ることができる。</p>		

 は、重点項目。